無差別・平等の医療と福祉の実現をめざしています

FUTAWA KENKO 友の会　民医連

船橋二和病院ホームページアドレス
https://www.futawa-hp.jp

ふれあい

船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東５－１－１
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者　宮野　暁
月一回発行　１部 50円

友の会と民医連を学び、医師像を深める

＝＝＝ 初期研修医のみなさんと懇談 ＝＝＝

4月に新しい初期研修医4名が入職しました。オリエンテーションの一環で、4月16日に友の会(共同組織)についてのレクチャーをおこない、どんな医師をめざしているのかなどについて、講義の感想も含めて話し合いました。

友の会の歴史と特徴について

講義では、①友の会と民医連の前身はどんな時代につくられたか②千葉民医連のはじまり③友の会の活動と特徴をテーマに説明しました。

医者にかかるのは「死亡診断書」を書いてもらう時だったという戦前、お金がなくてもかかれる診療所をつくろうという運動の高揚の中、千葉県でも1931年に千葉北部無産者診療所が開設されました。

戦後の1947年に奥山医院が誕生。奥山医師は「お金に余裕がなくても医療にかかれるように」と、1951年「健康クラブ」を結成しました。まだ皆保険制度になっていない時期に、国民健康保険制度をつくり、社会保険並みの治療費にしていくために、対市・対県交渉などに取り組まれたという歴史も紹介。奥山医師の70年前の思いが、現在もそのまま職員に引き継がれています。

船橋二和病院健康友の会は、「ひとりぼっち」をなくそうと高齢者の居場所をつくり、〝おせっかい〟する事が活動の特徴です。ウォーキングなど健康づくりの取り組みや、医療費や税金などの「なんでも相談会」の取り組み、職員と一緒に取り組んだ高齢者訪問活動の特徴的だった事例も紹介しました。

最後に、職員が友の会の活動を通じて地域へ出て、健康づくりやまちづくりの活動にかかわる大切さを訴えました。

研修医のみなさんの初心は？

講義の後は、「どんな医師になりたいと思っているか?」「二和病院を研修先に選んだのはなぜ?」などについて語り合いました。

【どんな医師になりたいですか?】

・専門性も大事にしたうえで、総合的に診ていける医師になりたいと昔から思っている。(A医師)

・地域の方に必要とされる医師になりたい。初期研修のあいだはそのための医師としての技能や考え方、患者への接し方を学びたい。(B医師)

・患者の疾患を治すということだけではなくて、それぞれ個人的に悩んでいることなどにも寄り添っていけるような医師になりたい。(C医師)

・今まで学び得たことを生かしつつ、総合的に患者さんを診ていける医師になりたい。(D医師)

【二和病院を研修先に選んだきっかけは?】

・奨学生だった。そのなかで無差別平等の医療活動が良いと思ったのと、病院見学をした時医師たちが優しく丁寧に指導してくれた。そういったことが嬉しかったので研修先に選んだ。(A医師)

・あまりよく知らずに入ったというのが正直なところ。しかし今思えば、民医連の考え方のもとに皆さんが働いていて、その印象が良くてここを選んだのだと思う。(B医師)

・病院見学で民医連を知った。二和病院の産婦人科に魅力を感じたので選んだ。(C医師)

・無差別平等の考え方や雰囲気が良かった。分け隔てなく患者さんに接している姿勢がすごく印象的で、働きやすいのかなと思ったから。(D医師)

感想文につづられた思い

○友の会と民医連の歴史について理解することができた。民医連は地域に必要な病院をつくり、地域に必要とされる医療を提供している。自分もそのうえで必要とされる医療が提供できる医師になりたい。

○千葉民医連の根源である『奥山医院』について深く理解できた。奥山医師の『誰でも医療にかかれるようにすることが市民に対する医師の責任』との言葉は、民医連で働く医師として心に留めるべき意識だと感じた。

○ひとりぼっちをなくそうとしている取り組みは、今の社会にとても必要とされていることだと感じた。

○友の会活動はSDH（健康の社会的決定要因）の視点を大切にしているという事がよく分かった。地域住民の需要を知り自分になにができるか考えつつ、今後さらに友の会や民医連について理解を深めたい。

以上が感想文の抜粋です。

笑いヨガ

健康講座

地域を知ることの大切さを

コロナ禍で研修医を含め職員が地域活動に参加する機会が減りましたが、地域の方と触れ合い、地域を深く知る機会が増えるよう今後も努力していきたいと思います。

組織部（友の会担当）　楠本 優

生き生き友の会・地域の活動

丸山

春の陽気の中、国営昭和記念公園に行ってきました。久しぶりの晴れの日、沢山の人出でにぎわっていました。木陰にシートを敷いてみんなでお弁当を食べたあと、広大な園内を一周するパークトレインに乗って、風を感じながらたくさんの花々や新緑を満喫しました。丸山10人、法典10人、職員1人の計21人が参加しました。　（丸山地区　小川正光）

白井

4月26日（金）、白井駅前センターにて、白井健康友の会主催の健康講座「加齢性難聴と補聴器について」を開催し34人が参加しました。船橋二和病院の言語聴覚士による加齢性難聴の説明、認定補聴器専門店「かなで補聴器」店の岡田恵子講師よる難聴と認知症の深い関係、補聴器の選び方や特徴、商品の説明などがありました。本人や家族の難聴について知りたいという強い動機で参加された方が多く、大変喜ばれた企画となりました。　（白井地区　池田誠治）

八木が谷

3月17日（水）、佐倉ふるさと広場に行きました。電車から見えたチューリップ畑が圧巻で、健脚５人が駅から徒歩。ソフトクリームが溶ける暑さと晴天でしたが、色々な色や形のチューリップはとても美しくかわいかったです。総勢16人での交流があまりできなかったのが少し心残りでした。
（八木が谷地区　鈴木トミ子）

あなたと民医連をつなぐ月刊誌
いつでも元気
MIN-IREN
2024 6 月号 380円
好評発売中
テレビで会えない芸人に会ってみた
けんこう教室　女性の健康と権利
珠洲市の原発計画　石川
まちのチカラ　三重県菰野町
食と健康　おかずスープで大満足！
あらかると年間大賞発表

西・高・芝

４月23日（火）、アンデルセン公園でウォーキングを開催し６人が参加。春の花が終わり、夏に向かって一時の新緑の美しさが花にも匹敵するほどでした。美味しい昼食と、沢山のお話と笑いで盛り上がった後、園内をゆっくりと歩きました。咲き始めていたハンカチの木の香りに驚き、最後はアイスクリームを食べて、心も体も癒される楽しい一日となりました。（西高芝地区　江口百代）

二宮・三田

4月25日（木）、アンデルセン公園にお花見に行ってきました。晴天にめぐまれ、まさにウォーキング日和でした。参加者４人でしたが、沢山の花々に迎えられて、個々に話がはずみ、大変充実した会で、楽しい一日となりました。
（二宮・三田地区　島峯美子）

職場紹介

船橋二和病院 放射線科

放射線科では、一般撮影、透視撮影、ＣＴ撮影、ＭＲＩ撮影、超音波検査、マンモグラフィ、骨密度検査（ＤＸＡ）、心臓カテーテル検査、外科用イメージ等（整形外科の手術等）を担っています。

一昔前は、放射線技師といえば男性の仕事というイメージでしたが、現在は女性の技師も増えてきています。船橋二和病院でも放射線技師１８人のうち約半数が女性です。それもありマンモグラフィと乳房超音波は、女性技師限定で対応出来るようになりました。それ以外の検査でも女性技師の希望等ありましたら対応いたしますので気軽にご相談ください。もちろん男性の対応希望も対応可能です。

また、ＣＴは２０２２年に機器が更新され、従来より少ない被ばく線量で検査ができるようになりました。大腸ＣＴや心臓ＣＴもより詳細に見えるようになっています。

便潜血を指摘された場合は必ず医師の診察を受け、医師の判断で大腸内視鏡検査、大腸ＣＴ検査などの検査を受けられることをおすすめします。

放射線科は検診検査、外来検査で友の会の皆さんとお会いする機会が多い職種です。皆さんにご協力いただきながら、より良い検査を目指していきたいと思います。　**放射線技師　潮田裕美**